

中央シベリアコチョチュム川最下流域にみられる斜面・河川地形

Slope and fluvial landforms of the lowermost reach of the Kochechm River, Central Siberia

大丸 裕武 [1]; 松浦 陽次郎 [2]

Hiromu Daimaru[1]; Yojiro Matsuura[2]

[1] 森林総研; [2] 森林総研・立地

[1] FFPRI; [2] Forest site Env., FFPRI

ASTER 画像から作成した DEM と現地踏査によって中央シベリア、コチョチュム川河口に位置するトゥラ周辺の地形分類を行った。曲流部の内側に位置するコチョチュム川西岸では、粘土質の堆積物を伴う河岸段丘が認められる。曲流部の外側に位置する東岸の斜面では、過去の河岸部の出来た急崖の名残と考えられる 2 列の明瞭な傾斜変換線が認められる。これらの傾斜変換線には急崖が平滑化される過程で出来たと考えられる細長い岩礫地が見られる。現在のコチョチュム川の顕著な洪水は融雪期に集中し、しばしば自然堤防のレベルを超える。自然堤防の最上流側は礫層からなるが、下流側は砂質堆積物からなる。砂質堆積物の中には約 4000 年前の化石林が見られる。